



筑波大学附属大塚特別支援学校創立60周年に寄せて

～次の10年、そしてもっと先のミライへ～

P T A会長 新見顕子

学校創立60周年、おめでとうございます。

息子が小学部に入学して2年目に50周年の式典が行われました。

あれから10年。時が経つのは本当に早いです。

ご縁あってこの節目の年を共に迎える皆様で、附属大塚の歴史を築いて来られた全ての方へ感謝をしつつ、ささやかなお祝いが出来ればと思います。

この10年変わらず、これからも続いて欲しいことは、学校の「子ども自身の願いや思いを大切に」する教育方針と学校教育目標、教職員の皆様の温かいご指導・ご支援、生徒の皆さんの笑顔、挨拶、仲間を思いやる気持ち、そして保護者の皆様のご理解・ご協力です。

学校は時代や環境の急激な変化に対応して、より多くの発信を行い、より地域や社会に開かれるなど、存在意義を高めるための新しい取り組みを進めています。これから先も、附属大塚が魅力的で沢山の方から必要とされる学校であり続けるために、学校に関わるみんなで力を合わせていければと思います。

P T A会長としての残り半年を全力で、そしてその先もずっと応援し続けます。

(令和元年度、2年度P T A会長)

この度の寄稿にあたり、創立50周年以降の歴代P T A会長の皆様にご賛同頂き、素敵なメッセージを頂戴することが出来ました。心から感謝申し上げます。

